



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 太平洋セメント株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 5233 URL <http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 修二  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 荒木 誠一 (TEL) 03-5531-7334  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	166,761	1.3	490	—	△4,222	—	△5,380	—
24年3月期第1四半期	164,540	1.0	△1,276	—	△4,223	—	△5,299	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 66百万円(—%) 24年3月期第1四半期 △2,210百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△4.38	—
24年3月期第1四半期	△5.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	977,349	193,326	17.0
24年3月期	982,231	196,144	17.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 166,514百万円 24年3月期 169,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	352,000	1.4	6,500	12.8	1,200	7.8	△3,200	—	△2.61
通期	728,000	0.0	36,000	23.3	28,000	51.4	10,000	27.5	8.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	1,237,800,586株	24年3月期	1,237,800,586株
----------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	9,489,096株	24年3月期	9,480,568株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	1,228,315,606株	24年3月期1Q	940,817,923株
----------	----------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、設備投資、住宅投資は緩やかに持ち直しているものの、欧州債務危機を背景とした海外経済の減速や円高の長期化などにより、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,667億6千1百万円（対前年同期22億2千1百万円増）、営業利益は4億9千万円（前年同期は12億7千6百万円の営業損失）、経常損失は42億2千2百万円（前年同期は42億2千3百万円の経常損失）、四半期純損失は53億8千万円（前年同期は52億9千9百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。各金額については、セグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

#### ① セメント

当第1四半期連結累計期間におけるセメントの国内需要は、東日本大震災の復旧・復興工事や都市部における民間住宅投資の増加などにより、1,041万トンと前年同期に比べ7.6%増加しました。そのうち、輸入品は18万トンと前年同期に比べ7.8%増加しました。また、総輸出数量は224万トンと前年同期に比べ11.3%減少しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は受託販売分を含め356万トンと前年同期に比べ8.8%増加しました。輸出数量は69万トンと前年同期に比べ10.9%減少しました。

米国西海岸のセメント、生コンクリート事業は、非住宅建設投資が改善を示し、販売数量は回復傾向にあります。中国のセメント事業は、不動産投資の停滞による影響を受けました。ベトナムのセメント事業は、石炭価格上昇等の影響を受けましたが、市況の改善もあり、業績を伸ばしました。フィリピンのセメント事業は、堅調な内需に支えられ、好調に推移しました。

以上の結果、売上高は1,098億4千9百万円（対前年同期71億4千8百万円増）、営業損失は9億1千3百万円（前年同期は19億1千4百万円の営業損失）となりました。

#### ② 資源

骨材事業は、東日本大震災の復興需要が徐々に動き出したことから東北地区等の出荷が増加し、販売数量は前年同期を上回りました。鉱産品事業は、国内向けは粗鋼生産量が東日本大震災直後の低迷から回復し、鉄鋼向け石灰石の出荷等が好調に推移していることから、販売数量は前年同期を上回りました。建設発生土処理事業は堅調に推移し、受入数量は前年同期と横這いとなりました。

以上の結果、売上高は201億1千2百万円（対前年同期5億7千4百万円増）、営業利益は3億2千6百万円（同2億3千5百万円増）となりました。

#### ③ 環境事業

石炭灰処理や石膏販売などが好調に推移し、災害廃棄物処理などの取り組みを進めたことから、売上高は148億5千5百万円（対前年同期10億7千万円増）、営業利益は13億1千6百万円（同1億1千3百万円増）となりました。

#### ④ 建材・建築土木

A L C（軽量気泡コンクリート）の出荷は前年同期並みであったものの、他の建材・建築土木事業は堅調に推移したことから、売上高は174億2千7百万円（対前年同期5億6千6百万円増）、営業損失は3億6千万円（前年同期は8億1千4百万円の営業損失）となりました。

#### ⑤ セラミックス・エレクトロニクス

セラミックス事業は、半導体製造装置及び液晶製造装置向け製品ともに、ユーザーの設備投資抑制の影響により、また、エレクトロニクス事業は、前期における一部の海外拠点での事業撤退により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、売上高は34億3千9百万円（対前年同期75億9千7百万円減）、営業損失は6億2千4百万円（前年同期は3億1千3百万円の営業損失）となりました。

#### ⑥ その他

売上高は154億4千8百万円（対前年同期12億1千5百万円増）、営業利益は6億2千2百万円（同1億7千7百万円増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は前連結会計年度末に比べ48億円減少して9,773億円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ111億円減少して3,233億円、固定資産は同62億円増加して6,540億円となりました。流動資産減少の主な要因は受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は投資有価証券が減少した一方で、有形固定資産その他（建設仮勘定ほか）が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ20億円減少して7,840億円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ36億円増加して4,518億円、固定負債は同57億円減少して3,321億円となりました。流動負債増加の主な要因は支払手形及び買掛金が減少した一方で、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金の減少によるものであります。有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ4億円減少して5,097億円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ28億円減少して1,933億円となりました。主な要因は、四半期純損失計上に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、現時点では平成24年5月15日に公表しました連結業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	64,505	58,116
受取手形及び売掛金	167,638	159,418
商品及び製品	26,155	29,121
仕掛品	4,773	4,304
原材料及び貯蔵品	37,145	39,053
その他	36,046	35,200
貸倒引当金	△1,766	△1,873
流動資産合計	334,496	323,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	150,556	151,516
機械装置及び運搬具（純額）	106,117	106,779
土地	151,935	152,825
その他（純額）	53,180	57,455
有形固定資産合計	461,789	468,576
無形固定資産		
のれん	12,343	12,447
その他	29,617	30,240
無形固定資産合計	41,960	42,687
投資その他の資産		
投資有価証券	78,574	75,921
その他	71,141	72,473
貸倒引当金	△5,730	△5,651
投資その他の資産合計	143,984	142,744
固定資産合計	647,735	654,007
資産合計	982,231	977,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,300	81,514
短期借入金	251,710	259,122
1年内償還予定の社債	30,366	30,351
未払法人税等	3,251	1,834
賞与引当金	4,395	3,475
役員賞与引当金	7	7
事業譲渡損失引当金	4,191	4,191
その他の引当金	1,468	1,284
その他	68,488	70,048
流動負債合計	448,180	451,830
固定負債		
社債	22,143	22,110
長期借入金	205,965	198,128
退職給付引当金	24,802	25,304
役員退職慰労引当金	550	475
関係会社事業損失引当金	138	138
特別修繕引当金	286	303
資産撤去引当金	2,002	1,936
資産除去債務	7,103	8,065
その他	74,915	75,729
固定負債合計	337,907	332,192
負債合計	786,087	784,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	50,636	50,636
利益剰余金	85,041	77,203
自己株式	△916	△918
株主資本合計	220,935	213,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	985	5
繰延ヘッジ損益	20	20
土地再評価差額金	4,710	4,710
為替換算調整勘定	△53,678	△47,823
在外子会社の退職給付債務調整額	△3,358	△3,494
その他の包括利益累計額合計	△51,321	△46,581
少数株主持分	26,529	26,811
純資産合計	196,144	193,326
負債純資産合計	982,231	977,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	164,540	166,761
売上原価	137,286	137,521
売上総利益	27,254	29,239
販売費及び一般管理費	28,530	28,749
営業利益又は営業損失(△)	△1,276	490
営業外収益		
受取利息	116	110
受取配当金	213	203
その他	1,116	926
営業外収益合計	1,445	1,240
営業外費用		
支払利息	2,340	2,279
持分法による投資損失	982	2,836
その他	1,069	836
営業外費用合計	4,392	5,953
経常損失(△)	△4,223	△4,222
特別利益		
固定資産処分益	378	127
その他	144	22
特別利益合計	522	150
特別損失		
固定資産処分損	204	229
事業撤退損失	365	215
災害による損失	932	—
その他	191	173
特別損失合計	1,694	618
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,394	△4,690
法人税等	28	864
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,423	△5,554
少数株主損失(△)	△123	△174
四半期純損失(△)	△5,299	△5,380



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,423	△5,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△538	△786
繰延ヘッジ損益	△7	△0
為替換算調整勘定	1,975	4,930
在外子会社の退職給付債務調整額	13	△135
持分法適用会社に対する持分相当額	1,769	1,613
その他の包括利益合計	3,212	5,621
四半期包括利益	△2,210	66
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,357	△640
少数株主に係る四半期包括利益	146	707

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
外部顧客への売上高	99,978	15,671	12,520	15,985	11,032	155,189	9,351	164,540	—	164,540
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,722	3,866	1,263	875	4	8,731	4,881	13,613	△13,613	—
計	102,700	19,538	13,784	16,860	11,036	163,921	14,233	178,154	△13,613	164,540
セグメント利益又は 損失(△)	△1,914	90	1,202	△814	△313	△1,749	444	△1,304	27	△1,276

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
外部顧客への売上高	107,330	16,139	13,551	16,427	3,430	156,879	9,882	166,761	—	166,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,519	3,972	1,303	999	9	8,804	5,566	14,371	△14,371	—
計	109,849	20,112	14,855	17,427	3,439	165,684	15,448	181,133	△14,371	166,761
セグメント利益又は 損失(△)	△913	326	1,316	△360	△624	△256	622	365	124	490

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。